

2020年度 研究、教育、社会・学会活動報告書

1. 研究（本年度のみ）

ふりがな	かとう やすし					
教員氏名	加藤 康		職 位	教授	学 位	修士（商学）
アルファベット表記	Yasushi Kato					
	専門分野	産業論・企業論				
研究課題	テーマ	サプライチェーンにおける倉庫の機能				
	概要	サプライチェーン、ロジスティクスに組み込まれた倉庫の意義、機能に関する実証的研究				
本年度 研究業績	研究費	総額： 380,000 円 内訳：個人研究費 180,000 円 / 科学研究費 200,000 円 そ の 他				
	研究テーマ	サプライチェーンにおける倉庫の機能				
	経過と到達点	今年度は、倉庫、ロジスティクス研究との関連において、科研費研究グループのメンバーとして、これまでの資料整理、今後の調査準備等を行った。				

（1） 学術論文

	論文等の名称	発行年月 (西暦)	単・共著 の別	発表雑誌等	概要
①英文査読論文					
②和文査読論文					
③英文論文					
④和文論文					
⑤紀要論文	ロジスティクスとタイミング・コントロール	2021年3月	単	『同志社商学』大72巻第5号。	これまでの研究の到達点を確認し、「タイミング・コントローラー試論」を援用して作業を展開した。
⑥紀要研究ノート等					

⑦学会での 口頭発表、討 論者(ディス カッサント)	宮本健吾(北陸先端科学技術大学院大学・院)「ボーンアゲイングローバル企業の国際合弁会社設立の成功要因—物流企業エムケー社のミャンマーにおける事例の分析—」へのコメント(オンライン)	2020年9月	単	アジア経営学会全国大会	宮本氏による企業の多様な国際化パターンを説明する新モデル構築への取り組みと具体的事実の提示について、積極的に評価し、物流業分析に関心のある討論者の立場から若干の質問を行った。
	ロジスティクスの動向と教育	2021年3月11日	単	京都経済短期大学経営情報学会	ロジスティクスの動向を概観し、教育的視点から検討を加える。

(2) 著書

	著書名	発行年月 (西暦)	発行所等の名称	概要
⑧共著書・ 共訳書				
⑨単著書・ 単訳書				

(3) 外部研究資金獲得(競争的資金獲得)

	研究テーマ (代表研究者名)	期間年月 (西暦)	研究項目の名称 (文科省科研費等)	概要
⑩共同研究 (研究代表)				
⑪単独研究				
⑫共同研究 (分担研究)	タイミングコントローラーと競争優位:規模の経済とJIT生産の両立に関する研究(中道一心)	2020年4月~2025年3月	文科省科研費基盤研究(C)	サプライチェーン全体の最適化に不可欠な企業(タイミング・コントローラー)の検討、国際比較、その理論構築を目指す。

⑬科学研究 助成事業(日 本学術振興 会)申請				
----------------------------------	--	--	--	--

2. 教 育 (本年度のみ)

担当科目	前 期		後 期	
	科目名		科目名	
	講義	経営学総論、中小企業論		企業論、流通論、経営英書購読 I
	演習	基礎ゼミナール I、ゼミナール II、経営講読 II		ゼミナール III
実習				
教育内容・方法 の工夫	◆ 講義科目 1 回生前期配当「経営学総論」では、オンライン講義にて、これまで同様、経営学の基礎知識を解説すると共に企業の実際に触れることを意識した。「企業論」では、前年度までと同様、経営分野の基礎的理解とともに、サプライチェーンに関連する論理と多様な実際のありようを紹介することに重点をおいた。今年度は物流企業と共同で、物流センターの実際に関する講義を企画実行した。これまでは出席カード裏面に毎度コメントを記入に提出するよう求め、そのフィードバックに注力したが、今年度も担当するオンライン講義 4 科目全てにおいて zoom のチャット機能を用いた同様の取り組みを行った。2 回生前期配当「経営購読 2」においては毎回テーマを提示し、経営学分野の基礎的なトピックに関する小論文の作成指導を行った。			
	◆ 演習科目 2019 年度生は、ゼミ合宿を例年同様行う予定であった、コロナ感染の拡大に伴い、本報告書作成時点において実現していない。今年度も取り巻く状況が厳しい中、グループ単位(今年度は 5 グループ)でのヒアリング調査 ((株)ビオスタイル、(株)ICHI インターナショナル、(株)ヤクルト、京滋ヤクルト販売(株)、ウエノ乳販(株)、(株)よーじや、(株)いちはら、(株)お掃除本舗(オンライン訪問)、お掃除本舗フランチャイズ店(在滋賀)、(株)ニチレイロジスティクス関西、関西急送(株)等)を行い、充実したゼミ運営を行うことができた。ゼミ内 5 班の成果を前年度に引き続きゼミ論集として製本する。2020 年度入学生に対して行う予定だった現場見学も実現していない。			
	実習科目			
	◆ その他(教科書・教材等の作成を含む。)			

(1) 課外活動

①研修旅行 海外	
②研修旅行 国内	

3. 社会・学会活動（本年度のみ）

（1）公的委員会

分 類	活動・講演の概要
①委員長・座長 国・国際機関	
②委員長・座長 上記以外	
③委員・アドバイザー 国・国際機関	
④委員・アドバイザー 上記以外	

（2）学術団体の理事（日本学術会議協力学術研究団体）

分 類	活動・講演の概要
⑤理事長・会長	
⑥理事	

（3）講演会

分 類	活動・講演の概要
⑦講演者・登壇者	

4. 特記事項（本年度のみ）

--